

## 管 理 の 目 標

指定期間	平成26年度から平成29年度まで	公園名	北海道立道民の森
------	------------------	-----	----------

- 1 北海道立道民の森の使命  
多くの道民が森林と親しみ、森林を知り、その恵みを受けながら、自然とともに生きる心を培う。
- 2 目的【上記使命を具体化するため、管理運営事業を通じて達成しようとする成果】
  - (1) 自然や森林とふれあうための多様な施設やプログラム等を積極的に提供し、利用促進を図る。
  - (2) 道民が自発的に森林づくりに参加できる機会を提供し、施設を通じて道民との協働を推進する。
  - (3) 日常的な保守点検・巡回等の業務を適切かつ効率的に実施し、利用者に安全で快適な利用環境を提供する。
- 3 達成目標及び業績指標【指定期間を通じて達成すべき成果及び具体的な指標】

### (1) 利用促進

達成目標及び業績指標	※基準年	指 標 値				達成度評価	
	H24	H26	H27	H28	H29	対比	評価比率
●有料施設利用者数の増加 【33,000人確保】	31,216 人	32,000 人	32,800 人	32,200 人	33,000 人	3/10	5/10
●小中学校・高校等団体利用者数の増加（森林環境教育事業受講者及び宿泊棟宿泊者数）【8,000人確保】	7,822 人	7,850 人	7,900 人	7,950 人	8,000 人	2/10	
●施設のホームページへのアクセス件数の増加 【81,500件確保】	81,122 件	81,200 件	81,300 件	81,400 件	81,500 件	2/10	
●催事事業参加者数の増加 【11,500名確保】	10,237 人	10,600 人	10,900 人	11,200 人	11,500 人	3/10	

### (2) 安全かつ快適な利用環境の提供

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値				達成度評価	
	H24	H26	H27	H28	H29	対比	評価比率
●施設内及び駐車場における日常的な巡回・安全指導を効果的に実施し、施設利用者による事故発生件数を年間1件以下とする。	0 件	1 件	1 件	1 件	1 件	10/10	1/10

### (3) 住民等との協働推進

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値				達成度評価	
	H24	H26	H27	H28	H29	対比	評価比率
●住民ボランティアによる施設の維持運営への協力団体数の増加 【5団体確保】	4 団体	5 団体	5 団体	5 団体	5 団体	10/10	1/10

### (4) 利用者満足度の向上

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値				達成度評価	
	H24	H26	H27	H28	H29	対比	評価比率
●指定管理業務に関する満足度調査で満足と回答した利用者の割合を80%以上とする。	96.1%	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	10/10	3/10

# 達成度の評価方法

評価点合計	評価

## 【評価方法】

### 1 「基礎点数」

ア 利用者数の増加等に関する指標（基準年に指標値がある）の場合  
 （当該年度実績値－基準年度指標値）

$$\text{「基礎点数」} = \frac{\text{（当該年度実績値－基準年度指標値）}}{\text{（当該年度指標値－基準年度指標値）}} \times 10$$

※小数点第1位を四捨五入。ただし、9点台の点数については、小数点以下の端数は切り捨て

イ 利用者の満足度の向上等に関する指標（基準年に指標値がない）の場合

$$\text{「基礎点数」} = \text{当該年度実績値} / \text{当該年度指標値} \times 10$$

※評価対象年度の実績値が目標値を上回る（達成目標が100%を超える）場合は、基礎点数は上限の10点とする。

ウ 達成目標（(2)「施設内の事故の発生件数」）の場合

$$\text{「基礎点数」} = 0 \sim 1 \text{件} : 10 \text{点}, 2 \text{件} : 8 \text{点}, 3 \text{件} : 5 \text{点}, 4 \text{件以上} : 0 \text{点とする。}$$

### 2 「ウエイト」

大項目（1）～（4）に設定している達成目標ごとの達成効果への反映割合を設定するもので、達成目標ごとの重要度に着目してウエイトを設定することとし、大項目ごとのウエイトの合計が10分の10になるよう設定している。

### 3 「項目点」

項目ごとの基礎点数にウエイトを乗じて算出

$$\text{項目点} = \text{基礎点数} \times \text{ウエイト（割合）（小数点第二位四捨五入）}$$

### 4 「評価比率」

管理の目標全体に対する大項目ごとの達成効果への反映割合を設定するもので、項目の重要度に着目してウエイトを設定することとし、評価比率の合計が10分の10になるよう設定する（ウエイト設定の考え方と同様）。

### 5 「評価点」

大項目ごとに項目点の合計に評価比率を乗じて算出

$$\text{評価点} = \text{項目点の合計} \times \text{評価比率（小数点第二位を四捨五入）}$$

### 6 「評価点合計」及び「評価」

大項目ごとの評価点の合計数値によりランク分けしA～Dにより評価

評価点の合計	評価	考 え 方
10.0～9.0 点	A	目標達成に向け努力が評価できる。
8.9～8.0 点	B	目標達成に対し、一定程度の努力評価ができるが、一層の努力を要する。
7.9～7.0 点	C	目標達成に対し更なる努力が必要で、取組み方法等の検討を要する。
6.9～5.0点	D	目標達成への課題や取組みについて検証を行い、取組みの見直し等を要する。
4.9～ 0点	E	業績が著しく不良であり、道が改善指示を行う。 指示等を行ってもなお、改善されない場合は、業務の全部又は一部の停止若しくは指定の取消しを行う

### 7 「例外」

新規事業など前年度実績がない場合

$$\text{『基礎点数』} \cdot \cdot \text{ 目標数値に対する実績数値の割合により算出（実績数値} / \text{目標数値} \times 10 \text{）}$$

$$\text{『項目点』} \cdot \cdot \text{ 上記基礎点数に「ウエイト」を乗じて算出する。}$$

### 8 調整点

目標設定時点では到底予測できなかった特殊事情のため、目標達成できなかった場合に限り、評価点を調整して加点を行う。

調整点は、不測の事態等により目標値に対する達成率が著しく低い場合に加点することとし、総合評価段階で総点数の一割程度の1.0を加点する。

道民の森指定管理者の管理目標達成状況（平成29年度）

道民の森指定管理者	(一財)北海道森林整備公社(道民の森管理事務所)
-----------	--------------------------

指定期間	基準値	指標値					達成度評価(H29)							評価率	評価点	
		H26	H27	H28	H29	実績第1四半期	実績第2四半期	実績第3四半期	実績第4四半期	基礎点	ウエイト	項目点				
平成26年度から平成29年度まで	H24	H26	H27	H28	H29											
利用促進																
① 有料施設利用者数の増加	31,216	32,000	32,800	32,200	33,000	4,135	19,698	1,526	-	0	0.3	0	0.5	1		
② 小中学校・高校等団体利用者数の増加	7,822	7,850	7,900	7,950	8,000	1,754	3,455	740	-	0	0.2	0				
③ 施設のホームページへのアクセス数の増加	81,122	81,200	81,300	81,400	81,500	30,992	69,869	7,225	7,378	10	0.2	2				
④ 催事業参加者数の増加	10,237	10,600	10,900	11,200	11,500	1,452	4,242	953	-	0	0.3	0				
安全かつ快適な利用環境の提供																
⑤ 施設内及び駐車場における日常的な巡回・安全指導を効果的に実施し、施設利用者による事故発生件数を年間1件以下とする。	0	1	1	1	1	0	0	0	-	10	1	10	0.1	1		
住民等との協働推進																
⑥ 住民ボランティアによる施設の維持運営への協力団体数の増加	4	5	5	5	5	5	4(2)	3(3)	-	10	1	10	0.1	1		
利用者満足度の向上																
⑦ 指定管理業務に関する満足度調査で満足と回答した利用者の割合を80%以上とする	96.1%	80	80	80	80		97.6			10	1	10	0.3	3		

参考 道民の森来園者数

地区名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
神居尻	72,691	78,700	81,656	74,026	77,389	71,414	64,511	61,778
一番川	22,071	17,896	20,933	17,682	20,254	20,721	19,241	17,017
月形	29,299	26,048	24,142	22,565	20,926	20,569	19,575	22,149
青山ダム	7,985	6,544	6,814	7,335	6,828	7,241	0	0
牧場南	12,545	12,443	12,055	12,406	15,483	19,290	4,194	7,348
青山中央	28,719	28,976	29,262	26,909	26,982	27,495	25,570	25,096
合計	173,310	170,607	174,862	160,923	167,862	166,730	133,091	133,388

・評価対象年度の実績値が目標値を上回る場合は、基礎点数は上限の10点とする。  
 ・調整点 目標設定時点では到底予測できなかった特殊事情のため、目標達成できなかった場合に限り、評価点を調整して加点を行う。調整点は、不測の事態等により目標値に対する達成率が著しく低い場合に加点することとし、総合評価段階で総点数の1割程度の1.0点を加点する。

基礎点

1 利用者数の増加等に関する指標の場合  
 (①②③④⑥)

$$\frac{(\text{当該年度実績値} - \text{基準年度指標値})}{(\text{当該年度指標値} - \text{基準年度指標値})} \times 10$$

2 利用者満足度の向上(⑦)

$$\frac{\text{当該年度実績値}}{\text{当該年度指標値}} \times 10$$

3 事故発生件数(⑤)

0~1=10点 2件=8点 3件=5点 4件以上=0点

計	6.0
理由	調整点
別紙	1.0
評価	計
C	7.0

評価点の合計	評価	考え方
10.0~9.0点	A	目標達成に向け努力が評価できる。
8.9~8.0点	B	目標達成に対し、一定程度の努力評価ができるが、一層の努力を要する。
7.9~7.0点	C	目標達成に対し更なる努力が必要で、取組み方法等の検討を要する。
6.9~5.0点	D	目標達成への課題や取組みについて検証を行い、取組みの見直し等を要する。
4.9~0点	E	業務が著しく不良であり、道が改善指示を行う。指示等を行ってもなお、改善されない場合は、業務の全部又は一部の停止若しくは指定の取消しを行う。

(別紙)

## 道民の森指定管理者の管理目標達成状況に係る調整点について

平成29年度北海道立道民の森指定管理業務に係る管理の目標達成度の評価方法に基づく評価の結果、「利用促進」項目のうち、①有料施設利用者数の増加、②小中学校・高校等団体利用者数の増加、④催事事業参加者数の増加の3項目の評価点が著しく低く、その要因は次のとおり。

- 1 有料施設利用者数が減となった主な原因は、繁忙期である7～9月期の週末の休日等に大雨・暴風等による悪天候が大きく影響していること。

### 【主な影響等】

- ①平成29年7月16日(日) 降水量 32.5mm

土砂崩れの恐れがあり、道民の森の施設地区に向かう道道28号線当別町青山奥二番川(西野橋ゲート)～当別町青山奥四番川(四番川ゲート)が通行止となる。

- ②平成29年7月22日(土) 降水量 19.5mm

道民の森神居尻地区でゲリラ豪雨が発生して、施設区域内の牧野林道が洗掘・浸食され路盤が流失する。

- ③平成29年8月12日(土) 降水量 44.0mm

大雨・暴風等のため道民の森の夏季イベントが中止される。

- ④平成29年9月23日(土) 49.5mm

前週からの台風18号等により集客が見込める3連休の来園者が激減した。

参考・・・気象庁HP(過去の気象データ検索URL)

[http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec\\_no=14&block\\_no=1085&year=&month=&day=&view=](http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec_no=14&block_no=1085&year=&month=&day=&view=)

- 2 小中学校・高校等団体利用者数の減となった原因は、平成26年度の貸切バスの事故を受けて、生徒の安全確保、またバス運賃の高騰や手配の困難性のため学校等が利用を中止し事故以前(H26)より利用者数が減少している。

	実績値	H26対比	
平成29年度	5,949人	▲2,233人	73%
平成28年度	5,107人	▲3,075人	62%
平成27年度	5,286人	▲2,896人	65%
平成26年度	8,182人		

【参 考】

なお、指定催事に加えて実施された自主事業については、新たな工夫を凝らした催事やPRイベントの開催等により計画を上回る実績となり、道民の森の利用促進につながった。

自主催事事業参加者数

計画 6,450人

実績 7,358人（計画比 114%）

以上の事項を勘案し達成度の評価方法8により調整点1.0を加点することとする。